

Tulip Trade Event 2018

今年で3回目となる Tulip Trade Event 2018 が3月14日～16日に行われ、球根輸出会社11社の門戸が開かれました。今回は球根、宿根草の業界団体 Anthos の宣伝部門 i-bulb の好意により輸出会社の他、育種会社、切り花生産会社、花束作成機械製作会社を訪問しましたので、チューリップ栽培面での話題について紹介します。

オランダチューリップ栽培の概要

チューリップ栽培技術の発展（水耕栽培、9℃球根貯蔵法、粘土質土壌ネット栽培、南半球産球根の活用）とスーパーマーケットの需要（長期間一定価格、一定量の供給）がピッタリ合い、年々切り花用チューリップの栽培が増加しています。その為、2015年に11790ha だったチューリップ球根栽培面積は2016年には12041ha、2017年はさらに12607ha にまで増加しました。

一方ドライセルは庭の減少、若年層の園芸離れなどより切り花とは対照的に減少の一方です。これに対処する為、花付き球根鉢などの宣伝に力を入れています。ドライセルの減少を補えるほどの成果はまだ出ていません。従って育種や研究も現在ではほとんどが切り花栽培用に向けられています。

粘土質土壌で栽培された球根は花が大きくなるので切り花栽培家向けに、砂質土壌で栽培された球根は球根が綺麗に仕上がるためドライセルへ用いられます。

訪問会社ごとに見て見ましょう。

Hobaho

チューリップ育種、球根幹旋会社。ここでは特に育種について話を聞きました。チューリップの育種は種から開花株を得るまで6年、球根増殖率の悪さ（2,7倍/年）から、従来方法では交配から新品種の販売まで25年ほどかかります。Hobaho の親会社である Dummen Orange とライデン大学は人の100倍あるチューリップDNAの解読に成功し、CRISPR/Cas9 を利用したチューリップのボトリチス、フザリウム、TBVの耐病性育種を欧州連合当局へ申請しています。許可されれば育種期間の短縮が期待されます。



チューリップ発芽室



従来育種では交配から品種化まで25年かかります。



チューリップ実生6年目 初めての開花株。ここから選抜が始まります。

Havatec

チューリップ、アルストロメリア、シャクヤク、ガーベラの切り花選別、束結索機、球根選別機的设计、製造会社。特にX線を利用したアルストロメリア切り花選別機、チューリップ、フザリウム罹病球根の選別機が有名。世界最大の球根生産地オランダは機械など周辺産業も共に発展しています。

Haakman

1938年設立の球根生産、輸出会社。日本へも多くのチューリップ球根を輸出しています。

Nord Lommerse

球根輸出会社。全量栽培農家向け。球根収穫後20～25℃で貯蔵、花芽分化 stage G 確認後、8月下旬より顧客の注文に合わせ5℃または9℃で低温処理を始めます。

VWS

チューリップの他ユリの球根も日本初め60ヶ国へ輸出しています。

Mooij Tulips

オランダチューリップの切り花栽培の90%が水耕栽培の中、土耕にこだわる栽培農家。11月～5月まで Orange Princes、Prinses Irene、Red Princes、Antarctica、Orange Rococo を700万本出荷します。水耕栽培より大きく重いチューリップを生産、専門店向けに水耕栽培より4～6ct/本高い値段で販売しています（水耕栽培は10～20ct/本程度）。



LED照明



温室は2段栽培となっている。



UV殺菌ランプ。栽培箱の裏側に照射し、殺菌をする。

発根室

H & M flowers bv

11～12月収穫はニュージーランド産球根、1～4月収穫はオランダ産球根を使い、2000万本の切り花を生産します。

- 生産過程 1 : 9℃貯蔵球根を水耕栽培箱に差し込みます。
 - 生産過程 2 : 発根室、多段積、暗室、7～9℃で2週間、発根させます。
 - 生産過程 3 : 17～18℃の温室で1週間、4段栽培されます。
 - 生産過程 4 : 2週間、17～18℃の温室で日光を浴び、栽培されます。
 - 生産過程 5 : 収穫室へ移動、3日間のうちに収穫されます。
- 収穫日と数量を設定したら、栽培は全てコンピューターで環境制御されます。



生産過程 1 : 9℃貯蔵球根を水耕栽培箱に差し込みます。



生産過程 2 : 発根室、多段積、暗室、7～9℃で2週間、発根させます。



生産過程 3 : 17～18℃の温室で1週間、4段栽培されます。



移動は全て無人で行われます。



生産過程 4 : 2週間、17～18℃の温室で日光を浴び、栽培されます



生産過程 5 : 収穫室へ移動、3日間のうちに収穫されます。

筆者プロフィール：対馬淳一

昭和55年に千葉大学園芸学部を卒業後、青年海外協力隊の隊員としてシリア国ドウマ農業試験場に2年間滞在。帰国後大手種苗会社に入社、研究農場、オランダ駐在、開発部など12年間勤務。

オランダには2回、合計で7年間駐在し、当地に魅せられた私はここで生活することを選び、アールスメール花市場にある切り花輸出会社へ転職、日本向け輸出業務に8年間従事した。

その後、日蘭の園芸交流をお手伝いする園芸事務所を立ち上げ、現在は園芸関係のガイド、翻訳、通訳を生業としている。ウェブサイト：www.tsushimaengei.nl

